

峯田敏郎彫刻展

記念撮影ー存在と気配そして空気ー

2015. 2016.
11/29(日) - 2/7(日)

休館日：12/29(火)-12/31(木)、2016/1/12(火)-1/21(木)

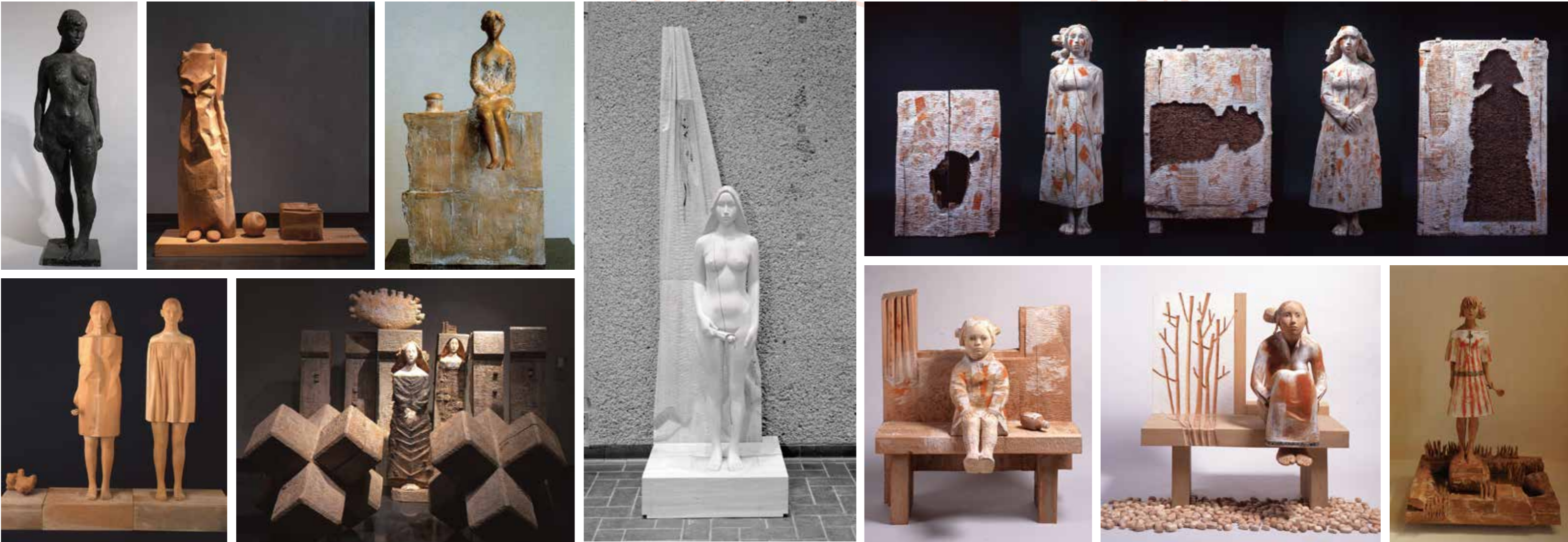


秋田県立近代美術館

峯田敏郎彫刻展

記念撮影ー存在と気配そして空気ー

秋田・筑波・今
北海道・上越



彫刻展によせて

<美人多し わき見運転注意> 北海道教育大学から秋田大学に転勤して間もなく、秋田市上北手の付近で目にした道路標識である。秋田との印象的な出会いだった。

山形で生まれ、東京で学生生活を送ったあと、北海道（岩見沢・札幌）、秋田、上越、筑波と生活の場を変えた。その後も金沢美術工芸大学、女子美術大学の非常勤、熊本の崇城大学に教授として出向いている。北海道から熊本まで、すべて大学との関わりが中心だったが、各地で様々な学生や人々、様々な風景や空気、様々な習慣に巡り合った。私の彫刻はその様な生活の中で、少しずつ生まれ変わって来た。

北海道では、雄大な自然に堂々と立ち向かえる立体。自然の中で違和感なく共存出来る彫刻とは…という私への問い掛け。今でも制作時の基本的な姿勢として続いている。

秋田では、隅々まで手の入った優しい自然。自然と人工との不思議な調和。久しぶりの本州での生活の中で、新鮮な風景として心に染み込んだ。又、秋田蘭画の研究者として名高い武埴林太郎氏と同僚になれたことは幸せだった。秋田蘭画の成り立ちを通して、歴史と伝統の中での新しい日本美術の在り方を示唆してくれたのである。

上越は秋田と同じ日本海に面した所とはいえ、自然の動きの早さ、四季の明確さ、大小様々な雲の形。戦国時代の城跡を始めとして、秋田同様に歴史の中に生きている、独特の空気と空間が忘れられない。そして様々な

出会いがあった。

10年間の上越での生活を経て、再び関東での生活になった。振り出しに戻った気持で制作に取り組んだ。およそ50年もの間、各地に住んだことによる感動と空気が、数えきれないほど私の心の中に蓄積されている。当時、その感動や空気を形にしたくても、技術や心の働きが追いつかなかった。その、もやもやと胸の奥で燻っていた思いが、今ようやく彫刻という具体的な形になり始めている。

彫刻は、造るものではなく試行錯誤の末に生まれて来るもの。立体は、それ自体を見せるだけでなく、それを取り巻く空気も見せるもの。そして不思議な存在として目の前にあるもの…など、ようやくたどり着いた私のこの地点から、今後どう変化していくのだろうか。

先の見えない無限の迷路を、これからも恐れなくて一歩ずつ踏み込もう。この会場にはその迷路を歩んだ私の足跡が、正直に並んでいる。次の迷路に向かうしばしの休み場として、この場を用意してくれた秋田県立近代美術館、そして秋田県民の皆様にお礼を申し上げます。

… まわる まわるよ 次代はまわる 喜び悲しみをくり返し…

この中島みゆきの唄を、秋田を去る私に学生達がさりげなく歌ってくれたのを、私は忘れていない。

平成27年11月
峯田敏郎

略歴

- 1939年 山形市に生まれる
- 1963年 第3回S.A.S(現代彫刻家集団)展
- 1964年 東京教育大学芸術学科彫塑専攻卒業、第38回国展0氏賞受賞
- 1965年 東京教育大学教育学専攻科彫塑専攻修了、新海竹蔵に師事、北海道教育大学岩見沢校助手→助教授(～77年)
- 1967年 第41回国展野島賞受賞、会友推挙
- 1968年 文部省内地研究員として東京藝術大学大学院舟越保武教室で研修
- 1969年 第43回国展会友優作賞受賞、第3回現代美術選抜展(文化庁)
- 1970年 国画会会員となる
- 1977年 秋田大学助教授→教授(～86年)
- 1984年 第3回高村光太郎大賞展優秀賞受賞(彫刻の森美術館)
- 1986年 上越教育大学教授(～96年)、名誉教授(97年～)
- 1989年 峯田敏郎彫刻美術館開館(秋田県天王町)
- 1990年 第3回ロダン大賞展彫刻の森美術館賞(彫刻の森美術館)
- 1991年 加茂山野外彫刻展優秀賞受賞(新潟県加茂市)
- 1993年 新海竹蔵・峯田敏郎彫刻展(秋田市立千秋美術館)
- 1995年 能生町野外彫刻展優秀賞受賞(新潟県能生町)、紺綬褒章(04年、04年)
- 1996年 筑波大学教授(～03年)
- 1997年 倉敷まちかど彫刻展優秀賞受賞(倉敷市)
- 1999年 第19回平瀬田中賞受賞(井原市立田中美術館)
- 2001年 井原市立田中美術館運営委員・選考委員に就任
- 2003年 崇城大学教授(～06年)
- 2004年 長野市野外彫刻賞受賞(長野市)
- 2006年 女子美術大学非常勤講師(～09)
- 2008年 刻みこまれる記憶・峯田敏郎展(秋田県立近代美術館)
- 2010年 現代木彫の潮流(北海道立近代美術館)
- 2011年 抱きしめたい!～近代日本の木彫展(高岡氏美術館ほか巡回)
- 2013年 ベストセレクション美術展2013(東京都美術館)、峯田敏郎彫刻の世界(上越市ミュージゼ雪小町)、峯田敏郎木彫展(相生森林美術館)
- 2015年 北陸新幹線開業記念上杉謙信像(上越妙高駅)、峯田敏郎彫刻展(秋田県立近代美術館)
- 現在 国画会会員 上越教育大学名誉教授 茨城県在住

1	2	3		7
			5	
4	6		8	9
				10

- 1 《ボーズする女》1969年
- 2 《転勤》1979年
- 3 《北の防波堤》1980年
- 4 《芝居は終わった》1981年
- 5 《記念撮影》1986年
- 6 《記念撮影ー時の化石ー》1993年
- 7 《記念撮影一瞬ー》2000年
- 8 《記念撮影ー内陸縦貫鉄道・初めての旅》2005年
- 9 《記念撮影一壁ー》2006年
- 10 《記念撮影ー遠い日の風音・わたしのふるさとー》2013年

表 《記念撮影ーきのうきょうあしたー》
裏上 《唄う女》1972年
裏中 《記念撮影ー私の住んだ街ー》1990年
裏下 《おんなー金沢ー》1990年

峯田敏郎彫刻展

記念撮影—存在と気配そして空気—



日本各地の風土や気候を心に刻み作品としてきた、彫刻家・峯田敏郎の展覧会です。

山形県に生まれた峯田敏郎は、東京教育大学（現・筑波大学）で木村珪二、新海竹蔵らに学び、文部省内地留学制度で赴いた東京芸術大学では舟越保武に学びました。北海道をはじめ全国各地の大学で教鞭執った峯田ですが、30歳代後半から40歳代後半の10年近くを過ごした秋田では、峯田芸術を象徴する数多くの作品を制作しました。

展覧会では、1963年の第3回S.A.S(現代彫刻家集団)展、翌年国画会に合流後には国展を中心に作品を発表し、1984年の第3回高村光太郎大賞展優秀賞1999年の第19回平櫛田中賞など数々の賞を受賞しました。現在でも、田中賞選考委員・国画会会員として意欲的に制作を続けています。

本展では国展を中心に発表された峯田の初期から現在までの作品約30点と制作のために描かれたデッサンを展示し、その創造の軌跡をご覧ください。



会場 | 秋田県立近代美術館 5F 展示室

会期 | 2015/11/29(日)～2016/2/7(日)

日	月	火	水	木	金	土	休館日
11/29	30	12/1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31	1/1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31	2/1	2	3	4	5	6	
7							

開館時間 | 9:30～17:00(入館は16:30まで)

観覧料 |

一般 500円
団体(20名以上)、シルバー 450円
大学生以下 無料
障害者手帳ご提示の方と介添1名 無料

主催 | 秋田県立近代美術館

共催 | ABS秋田放送

後援 |

横手市・横手市教育委員会・秋田魁新報社・河北新報社・朝日新聞秋田総局・毎日新聞秋田支局・読売新聞秋田支局・産経新聞社秋田支局・AKT秋田テレビ・AAB秋田朝日放送・エフエム秋田・横手かまくらFM・エフエムゆーとびあ・FMはなび

関連事業 |

*作家ギャラリートーク

日時: 11/29(日) 11:00～

場所: 5階展示室

参加: 申込不要。直接会場へお越しください。

※入場には鑑賞券が必要です。

*学芸員ギャラリートーク

日時: ①12/5(土) 14:00～

②1/10(日) 14:00～

場所: 5階展示室

参加: 申込不要。直接会場へお越しください。

※入場には鑑賞券が必要です。

*ワークショップ

「粘土でマスコットキャラクターをつくろう」

日時: 12/6(日) 10:00～

場所: 1階実習室

講師: 峯田敏郎氏

対象: 小学校高学年以上一般

参加: 参加料500円。電話・FAXで申込

11/6(金)より受付



■交通のご案内

・JRとバス

JR横手駅東口からバス「ふるさと村行き」で、ふるさと村下車

・乗用車

秋田自動車道 横手インターより3分

・高速バス

高速バス湯沢・秋田線「横手インター入口」下車 徒歩10分

※「横手インター入口」は、秋田行きは乗車のみ、湯沢行きは降車のみです。

※車いす対応駐車場がございます。ご利用の際は美術館にお電話ください。

秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46(秋田ふるさと村内)
TEL:0182-33-8855 FAX:0182-33-8858 E-mail:akitamma@rnac.ne.jp